

科目名: 産業能率大学とマネジメント		科目コード	GF01
科目主査: 池内 健治		単位	1
担当講師: 池内 健治、欧陽 菲、小野 洋子、 風戸 修子、小林 久司、角田 百合子、 宮内 ミナミ		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>本学の創立者上野陽一の足跡を振り返り、マネジメントの思想と理念、実践の重要性、そして本学建学の精神を正しく理解することによって、今後履修するさまざまな科目に対する興味と関心を深めます。また、創立者が唱えた能率の考え方を深く理解することによって、それを現実の生活に生かすための考察を行い、より良い生活を目指すための視点を獲得します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名: 本学の学習の動機付けとなるため、他の科目に先駆けて受講することをお勧めします。	
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキストを読み、能率についての考え方、本学の建学の精神、上野陽一の行ったコンサルティングなどに関する重要なキーワードを理解できるようにしておきましょう。		
テキスト	『産業能率大学とマネジメント』宮内 ミナミ(監), 産業能率大学, 2012年		

この科目の到達目標	<p>①創立者上野陽一の足跡、マネジメントの思想と理念、および本学建学の精神について説明できるようになります。</p> <p>②「能率の考え方」とは何かを説明するとともに、社会生活の中でどのように活用できるかについて、自分の考えを述べることです。</p>
成績評価の方法	授業中のチャットでの発言、最終試験の結果で評価します。

事後学習	身近な問題について、「目標が標準か」や「目的と手段が適合しているか」という観点から考察し、能率の考え方を生活に応用して、さらに理解を深めていきましょう。
事後学習の参考文献	『能率学原論』上野 陽一, 日本能率学校, 1948年 (※インターネットで「国立国会図書館デジタルコレクション」サイトからダウンロードできます)
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具	